

公益財団法人高知県産業振興センター

# 情報 ▶ プロットフォーム

2024  
3月号  
vol.438

## 【特集】 令和5年度 第38回高知県地場産業大賞 受賞者のご紹介




—— 高知家のものづくりを全力で応援します！ ——

**【目次】**

- 令和5年度 第38回高知県地場産業大賞 受賞者のご紹介…………… 2
- 羽ばたく！高知のものづくり…………… 13
- よろず支援拠点通信…………… 14

schedule / **3月** 行事予定表

行事予定表				
区分	日時	名称	場所	QRコード
よろず支援拠点開催少人数セミナー(定員5名)	3月18日(月) 13:30~15:00	どこだ! 損益の分岐点! 利益確保のための 損益分岐点分析の基礎セミナー	ぢばさんセンター1階 商談室2	
	3月19日(火) 13:30~15:00	小規模事業のデジタル化と 補助金活用セミナー		
	3月25日(月) 10:00~11:30	「売上と利益の管理」の 基礎セミナー		

セミナーなどは事前に申込みが必要です。受付方法やその他の詳細については、高知県産業振興センター(088-845-6600)までお問い合わせください。

## 補助金のお知らせ

**募集中**

給与等の増額を行う県内中小企業者等のデジタル技術への投資を通じた生産性を向上させる取組を支援します!



デジタル技術活用促進事業費補助金

	募集締切	補助金額	補助率
一般枠	毎月末17:00 (土日祝日の場合はその前日)	<b>5万円~450万円</b>	1/2以内
デジタル化加速枠		<b>100万円~1,000万円</b>	2/3以内

**お問い合わせ先** 公益財団法人高知県産業振興センター

デジタル技術活用促進事業事務局 TEL:088-854-8155

**予告**

経営革新計画やセンターが承認した事業戦略等に基づき、県内中小企業者等の営業力強化や販路開拓、人材育成等の取組を支援します!

令和6年度事業戦略等推進事業費補助金(こうち産業振興基金等事業)

	募集期間(予定)	補助金額 (賃上げ枠の加算100万円を含みます)	補助率
国内事業等申請枠	3月下旬~4月中旬	<b>10万円~250万円</b>	1/2以内
海外事業申請枠	4月上旬~ 毎月末17:00締切 (土日祝日の場合はその前日)	<b>10万円~500万円</b> (一定要件を満たした場合)	

※県及び当センターの予算成立が前提となります。詳しくは募集HPを3月下旬にアップする予定です。

**お問い合わせ先** 公益財団法人高知県産業振興センター 経営支援課 TEL:088-845-6600



# 令和5年度 第38回高知県地場産業大賞

## 受賞者 の ご紹介

県内の優れた製品や地場産業の振興に貢献のあった活動を表彰する高知県地場産業大賞。今年度は、応募総数61件(一般56件、高校生5件)の中から、地場産業大賞1件、産業振興計画賞1件、地場産業賞3件、地場産業奨励賞10件、地場産業次世代賞2件の計17件の方々の受賞が決定しました。

今月号では、各賞を受賞された皆さまの製品・活動をご紹介します。

各受賞企業・団体については HP でも公開中



受賞者一覧表

区分	受賞者	製品名・活動名
高知県地場産業大賞	YAMAKIN株式会社	地域の歯科技工士がつくるデジタルコピーデンチャー
高知県産業振興計画賞	河野製紙株式会社	新保湿ティッシュ絹雲 3枚重ね
高知県地場産業賞	株式会社飯田鉄工	エコカッターシリーズ
	井上ワイナリー株式会社	山北みかんワイン
	一般社団法人こうち絆ファーム	地域共生社会を実現し「生きづらさ」に起因する課題を解決する
高知県地場産業奨励賞	株式会社アースエイド	かつおに合う葉にんにくぬた
	株式会社オガサ製工	住宅の倒壊・被災生活での寒暑問題を解決する屋根工事「減災遮熱ルーフガルパワー®」
	合同会社風	「とさちょうものがたり」を起点に～地域と共に地域を耕す～
	株式会社高知丸高	橋脚の周りを仮締切構築する仮締切工法
	四国情報管理センター株式会社	AI 放馬自動検知システム
	集落活動センター四万川	地域住民の暮らしを守るために
	須崎市海のまちプロジェクト推進協議会	須崎市海のまちプロジェクト
	司牡丹酒造株式会社 / BAR Craps	司牡丹 マキノジン
	有限会社戸田商行	地域で眠る未利用材を活用した文旦エッセンシャルオイル
	有限会社藤川工務店	移住支援・住宅整備で 雇用と住居を提供して人口を倍増！
高知県地場産業次世代賞	高知市立高知商業高等学校	陸の豊かさを守りつづける～ジビエ部の挑戦～
	高知県立幡多農業高等学校	まるごといかそう 幡多 no 食材～大切にしたいひと・もの・こと～



## 地域の歯科技工士がつくる デジタルコピーデンチャー

**YAMAKIN 株式会社**

- 代表者** 代表取締役社長 山本 樹育
- 所在地** 香南市香我美町上分1090番地3
- TEL** 0887-55-0120
- 担当者** 麻岡 誠司



### 製品概要及び受賞理由

型取りから成型まで手作業で製作しなければならなかった総入れ歯（フルデンチャー）を、デジタル技術を活用することで手軽に複製することができる「技法及び歯科材料」で、本製品は高知大学との共同研究の成果でもあります。

従来の総入れ歯は、患者の口腔内の型取り、射出成型、研磨、細部の調整をすべて歯科技工士が手作業で製作していたため、作業性や品質の安定化に難点がありました。また近年では、歯科技工士の担い手不足による熟練技術の継承や高齢化による需要増加などにより、生産性向上も喫緊の課題となっていました。

これらの課題を解決しようと開発されたものがデジタルコピーデンチャーです。初めての総入れ歯は従来通り型取りから製作する必要がありますが、その後はデジタル技術を活用することで手軽に複製できるので、入れ歯の作り直しやスペアを作りたいというニーズにも迅速に対応することができます。

切削する歯科材料は、一般的な材料に比べて耐衝撃性が70倍以上、吸水量は約1/7以下となっており、衝撃による破損や口腔内での劣化を減らすことができます。また、仕上げ材を塗布した総入れ歯の表面は、熟練歯科技工士が研磨、仕上げたものと同様以上であり、優れた耐摩耗性を持つとともに、硬度も高いため傷がつきにくいという特性もあります。

超高齢社会における高齢者のニーズに応えるものであり、特に地域医療の存続に関わる担い手不足にデジタル技術を活用し解決に取り組む点などが高く評価されました。

### 受賞者の声

栄えある賞を賜わり誠にありがとうございます。本技術・製品による入れ歯づくりのデジタル化によって、患者様やそのご家族の負担軽減、歯科医療従事者の生産性向上につながると考えています。用途拡大を進め、さらなる普及を図ります。

今回の受賞を励みに、歯科医療の発展に引き続き貢献してまいります。



高知県  
産業振興  
計画賞

# 新保湿ティッシュ絹雲 3枚重ね

河野製紙株式会社

代表者 代表取締役社長 河野 晃久

所在地 高知市下島町71

TEL 088-822-3107

担当者 安井 真一



## 製品概要及び受賞理由

世界で初めて保湿ティッシュを発明した同社が、まだ見ぬ「次の心地よさ」を顧客に届けるため、パイオニアとしての知見に新たな発想を加えて開発した新次元の「新保湿ティッシュ」です。

従来の保湿薬液に加え、特許を取得した独自技術「オイルリッチ&パウダーin製法」により、オイル成分と植物性パウダーを最適なバランスで配合し、紙表面の繊維を立ち上がらせることで絹のようになめらかな肌触りを実現しました。また、繊維が柔らかい広葉樹パルプを高配合し紙を3枚重ねとすることで、シートの間に空気の層を生み出し、雲のようなふんわり感と高強度を両立するとともに、弾力性と吸水性を高めています。

各社が独自技術を磨きながら本県の地場産業として発展してきた製紙業において、高知発の技術・こだわりとブランディング戦略で販売力の強い大手と一線を画す取り組みは、産業振興計画における紙産業の振興に向けた高機能紙開発のモデル事例であり、伝統的な技術を発展させて競合商品に無い新たな価値を生み出している点や、高品質を求める層にターゲットを絞ったニッチトップ戦略などが高く評価されました。

## 受賞者の声

この度の受賞、誠にありがとうございます。最上級のやさしく新しい肌触りの保湿ティッシュを認めていただけたことは、本当に嬉しい限りです。今後は、高知生まれのこの商品を全国のみならず、海外も視野に入れて拡販して行きたいと思っております。



## エコカッターシリーズ

### 株式会社飯田鉄工

代表者 代表取締役 飯田 隆雅 担当者 中澤 祐樹  
 所在地 高知市長浜3111-2 TEL 088-842-2496

#### 製品概要及び受賞理由

海洋汚染防止対策として産業廃棄物の減容化が重要視されるなか、産業廃棄物処理用掴み機「グラッフル」を製造していた同社では、掴む機能に加えて切断する機能を搭載した「エコカッター（産業廃棄物処理機）」の製品化を実現しました。

当製品は、強度と硬度が高い頑丈なフレームで構成されており、切断時の破損が少ないのが特徴です。また、カッター刃をへの字型の両刃構造にしたことで、切断時の効率が向上するだけでなく、対象物を掴んだ際に滑り落ちる心配がなくなり安全性も高まりました。近年、産業廃棄物の輸出が困難となり国内での減容化が求められるなか、産業廃棄物の機械装置市場には大幅な進展が見込まれています。

環境・防災分野における成長が期待できる点や、国内市場にとどまらずフィリピンほか東南アジアなどへの海外を見据えた事業展開を進めており、更なる発展性が期待できることなどが高く評価されました。



#### 受賞者の声

高知県地場産業賞をいただきありがとうございます。今後もユーザー様に信頼していただける製品を製作し続けます。ASEAN諸国をはじめ世界各国へのプレゼンを通して、世界中で活躍するメイドイン高知の製品を出していきます。



## 山北みかんワイン

### 井上ワイナリー株式会社

代表者 代表取締役 井上 孝志 担当者 梶原 英正  
 所在地 香南市野市町大谷1424番地31 TEL 0887-50-6694

#### 製品概要及び受賞理由

高知県が誇るブランドみかん「山北みかん」を100%使用したワインです。

同社の企業理念である「高知でしかつけないワインを」「高知だからこそできる味わいを」というテーマを追求し、地元で愛され、地域の象徴でもある山北みかんを原料に選定しました。みかんの優しい風味を活かすため低アルコールに仕上げられており、女性や高齢者にも親しみやすい商品です。

原材料は、耕作放棄地や高齢離農の問題解決に取り組む(株)山北みらいから仕入れて、産地の維持に貢献するだけでなく、今後は耕作放棄地を自園化して、原料を生産することも計画しています。こうした取り組みには、単にワインを作るだけでなく、原料の生産から醸造まで地域一体となって行うことで、高知らしい「テロワール(風土)」を追及する同社の思いがあります。

地域にこだわったストーリー性のある取り組みであることや、山北みかん農家の収入増加に貢献している点が高く評価されました。



#### 受賞者の声

ワインの味の9割は原料由来と言われます。高知で愛される、美味しい「山北みかん」が原料だからこそ、受賞する事ができました。山北みかんの栽培に関わる方々のご努力であることは間違いありません。産地維持、就農者の増加の一助を目指し「山北みかんワイン」の生産本数の増加と、販売チャネルを増やしていきたいと思っております。





# 地域共生社会を実現し 「生きづらさ」に 起因する課題を解決する 一般社団法人こうち絆ファーム

代表者 代表理事 北村 浩彦 担当者 門脇 将志  
所在地 安芸市本町3丁目10-35 TEL 0887-37-9071

## 活動概要及び受賞理由

障がい者や引きこもり、生活困窮者等、生きづらさを抱えた人々の就労支援を通じて、人手不足の解消など、地域の課題解決に取り組むことで、共生社会の実現を目指す活動です。

県内の自殺死亡率は全国上位にあり、特に安芸地域の自殺者が多かったことから、「生きづらさ」を解決しようと活動を開始しました。その取り組みの一つが「農福連携」です。農業分野での活躍によって社会参画を実現し、また、新規就農者の創出により、農業分野の担い手不足を解消するなど、課題解決につながっています。

さらに令和5年には、和紙産業の担い手不足が深刻化するの町に新たな事業所を開設しました。製紙会社の加工作業に従事することで、伝統産業の維持・継承に貢献しています。

「生きづらさ」という課題を地域全体で支えており、共生社会の手本となる取り組みである点や、農業にとどまらない多分野での連携など、県内での活動を広げている点が高く評価されました。



## 受賞者の声

4年前に安芸市で始まった地域づくりの取り組みが評価され、大変嬉しく思っております。利用者、職員へ新たな就労の選択肢を提案できるように連携の輪を広げ、活動範囲を県全域へと拡大してまいります。





## かつおに合う葉にんにくめた

### 株式会社アースエイド

代表者 代表取締役 嶋崎 裕也 担当者 嶋崎 裕也  
 所在地 須崎市浦ノ内西分2622 TEL 0889-59-2248

#### 製品概要及び受賞理由

自社で有機栽培した葉にんにくを使った、かつお用に開発された洋風タイプのめたです。

飲食関係者から「かつおにも合うめたはないか」との声が相次いだことが開発のきっかけとなりました。従来のめたは、原料となる酢や味噌と、かつおに多く含まれる鉄分の相性が良くなかったため、試作と改良を重ね、酢や味噌の代わりにオリーブオイルやボン酢に置き換えたことで、かつおと相性抜群の洋風のめたを完成させました。完全無添加で非加熱処理のため、風味と栄養価も高く仕上がっています。

高知県の地域産品として全国的に知名度の高いかつおに、「本県の伝統的な調味料であるめたをつけて食べる」という新たな食べ方を提案することで、高知県の認知度向上にも貢献する商品として期待できます。

かつおにめたという斬新さ、海外展開による今後の成長が期待できる点などが評価されました。



## 住宅の倒壊・被災生活での寒暑問題を解決する屋根工事「減災遮熱ルーフガルパワー®」

### 株式会社オガサ製工

代表者 代表取締役 小笠原 孝彦 担当者 片山 叶望  
 所在地 高知市長浜3110-1 TEL 088-842-0791

#### 製品概要及び受賞理由

同社が震災からの復興に携わった際に感じた「長年の屋根工事で培ったノウハウを防災につなげたい」という思いをもとに開発したのが「減災遮熱ルーフガルパワー®」です。

屋根材に遮熱材を採用したことで、断熱材では困難であった輻射熱(ふくしゃねつ)の侵入を防ぎ、常に室内温度を快適に保つ機能を併せ持つことにつながりました。また、瓦と比べて1/7の重量であるガルバリウム鋼板(\*)を屋根材に採用したことで、屋根の軽量化により家屋の重心が低下し、地震による揺れが軽減されて瞬間倒壊のリスク低減につながっています。

遮熱材を使った施工は近年増加傾向となっていますが、同社はいち早くこれに着目し、屋根材の間に空気層を設けて機能を最大限発揮させる独自の工法で施工しています。

温暖化対策、震災対策の観点で従来の屋根と比較して優れた製品であり、今後の成長が見込まれることが評価されました。



※溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板





## 「とさちょうものがたり」を起点に ～地域と共に地域を耕す～

### 合同会社風

代表者 代表社員 鳥山 百合子

担当者 鳥山 百合子

所在地 土佐郡土佐町土居177

TEL 0887-72-9260

#### 活動概要及び受賞理由

土佐町の良さを発信するウェブサイト「とさちょうものがたり」の運営を中心に、地域と人とのつながりをつくることで、この地で暮らして良かったと思える社会をつくることを目的とした活動です。

ウェブサイトでは、「自然に寄り添った暮らし」「四季ごと風景の美しさ」などを写真、文章、イラストで、土佐町の本質的な価値を伝える記事としてクリエイティブに表現し、地域住民と町の魅力を共有しています。また、障がいのある方への支援事業として、県内の障がい者支援施設と連携しながらTシャツやポロシャツ、カレンダー、鹿の角の御守りを制作することで、雇用の場を創出し、仕事にやりがいや誇りを感じてもらい、生活の向上にもつなげています。

地域社会と密接に関わっていることや、障がいのある方が活躍できる場や機会をつくる活動を展開していることが評価されました。



## 橋脚の周りを仮締切構築する 仮締切工法

### 株式会社高知丸高

代表者 代表取締役社長 高野 一郎

担当者 小西 大輔

所在地 高知市薊野南町12-31

TEL 088-845-1510

#### 製品概要及び受賞理由

河川等の水中に設置されている橋脚の補修・補強工事等を行うための仮締切工法(※)です。従来は鋼板などを重機で運んで仮設構造体を構築していましたが、都市部に多くある水面と橋桁間が2～3mの低空間では大型重機が入れないため、人力で施工できる技術の開発が求められていました。

これを受け、軽量の鋼板を人力で持ち運び、遮水壁を組み立てることができる工法を発明しました。さらに改良を加え、重量1.5tの鋼製パネルを電動で順次吊り下げて水中に打設後、補修工事を行う工法を開発しました。

近年、橋梁等の社会インフラの老朽化が進行し、その対策が喫緊の課題となっていることから、今後も公共工事において、更なるニーズ拡大が見込まれます。

低コストで補強可能な競争力の高い独自技術であり、今後の成長が見込まれる点や県内事業者への波及効果の高さなどが評価されました。

※水中にある構築物等の基礎工事を確実にするため、水を遮断する目的で水中の掘削部分を仮設構築物等で一時的に完全に締め切る工法。





## AI放馬自動検知システム

### 四国情報管理センター株式会社

代表者 代表取締役社長 中城 一

担当者 公文 基博

所在地 高知市一ツ橋町1丁目36番地

TEL 088-825-3571

#### 製品概要及び受賞理由

日本初の「放馬(\*)対策」に特化した、人工知能(AI)による検知システムです。競馬場ではこれまで、放馬の発見は人間が目視で確認することで行っていましたが、本製品は場内に設置された監視カメラの映像をAIがリアルタイムで解析し放馬を自動判定することで、放馬の早期発見を実現すると同時に監視する警備員の負担を大幅に軽減することを可能としました。

本製品の検知精度は99%以上を誇り、技術転用により、害獣対策やスマート畜産など、競馬場以外でも幅広い分野での応用が期待できます。

高知県産で日本初のシステムであることや、AIの活用事例として意義がある点、害獣対策など他分野への応用に期待が持てる点が評価されました。

※競馬場内で何らかの事態が発生し、馬が逸走すること。過去には馬が一般道まで逃走し人命を奪う事故も発生しており、賠償金やレースの自粛、信用の失墜など、放馬によって競馬場が抱えるリスクは計り知れない。



## 地域住民の暮らしを守るために

### 集落活動センター四万川

代表者 会長 空岡 則明

担当者 空岡 則明

所在地 高岡郡檮原町六丁116-1

TEL 0889-67-0880

#### 活動概要及び受賞理由

檮原町四万川区では、平成23年の危険物等の法律の改正により地域唯一のガソリンスタンドが廃業を余儀なくされ、冬季の灯油や生活物資の調達難など、住民生活への影響が懸念されていました。

そこで、平成25年6月に集落活動センター四万川推進委員会を立ち上げ、検討を重ね、その後、住民が主体となり運営母体となる(株)四万川を住民の出資により設立し、地域のニーズに応えながらガソリンスタンドや高齢者への配食サービス等の運営を開始しました。また、令和3年には伝統的な地域産業であるキジ肉の養殖事業を生産組合から継承するとともに、キジ肉の認知度向上、消費拡大に取り組んだ結果、新たな雇用も創出しています。

こうした地域に必要な事業を住民の手で運営することで地域活性化につながっており、他地域のモデルにもなり得る点などが評価されました。







## 須崎市海のまちプロジェクト

### 須崎市海のまちプロジェクト推進協議会

代表者 会長 楠瀬 耕作

担当者 矢野 和実

所在地 須崎市山手町1番7号

TEL 0889-42-1256

#### 活動概要及び受賞理由

須崎市の図書館等複合施設や魚市場の整備に合わせ、港町として栄えた市の歴史や食文化、海の恵みなど多面的な魅力を発信することで観光客を呼び込み、中心市街地を活性化させ、交流人口の拡大を図る5か年計画「海のまちプロジェクト」による活動です。

本プロジェクトには、同市で創業した高知信用金庫が100周年記念事業として主催者に加わり強力にバックアップを行っている他、県や大学、地元高校など、多数の機関が参画しています。観光の拠点となる「海のまち須崎駅」や「須崎大漁堂」の整備から始まり、商店街での大規模フェスティバルなど、産学官連携による多様な活動を展開しています。

民間企業と行政のタイアップで、多岐にわたる取り組みが戦略的に実施され、今後も新たなまちづくりの先進事例として、更なる活躍が期待できる点が評価されました。



## 司牡丹 マキノジン

### 司牡丹酒造株式会社 /BAR Craps

代表者 代表取締役社長 竹村 昭彦 / 代表 塩田 貴志 担当者 魚住 明司(司牡丹)

所在地 高岡郡佐川町甲1299番地 / 高知市帯屋町1丁目2-8 徳屋ビルB1

TEL 0889-22-1211 / 088-824-2771

#### 製品概要及び受賞理由

佐川町出身の植物学者・牧野博士が発見、命名した「スエコザサ」をはじめとした高知産の植物を使用し、博士由来の酒蔵で蒸留した県内初のクラフトジンです。

牧野博士の生家「岸屋」の跡地にあった旧式蒸留器を使用し、焼酎古酒をベースにブシュカの爽やかな風味やグアバ・榎木のウッディでオリエンタルな香り、生姜や山椒などのスパイスをキーボタニカルである「スエコザサ」が上品にまとめた、高知を感じさせる「マキノジン」が完成しました。

奇しくも同時期に牧野博士をモデルとしたドラマ制作が決定するなど、時流も味方にして売上は好調に推移。ジンは世界的に需要も増加しており、今後は、世界的コンペティションへの出品など、輸出への取り組みも計画しています。

開発のきっかけから完成までのストーリー性や、ジン市場が拡大する中で高知の新しい酒としての期待が持てる点などが評価されました。





## 地域で眠る未利用材を活用した 文旦エッセンシャルオイル

### 有限会社戸田商行

代表者 代表取締役 戸田 実知子 担当者 戸田 佳之子  
所在地 土佐市本村580番地 TEL 088-855-0426

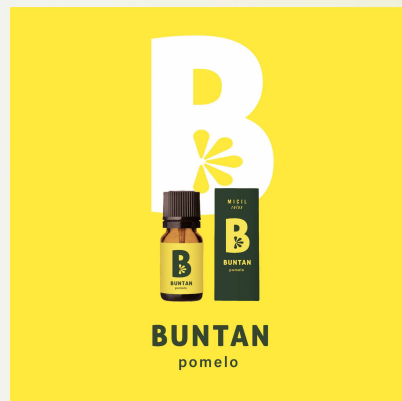
#### 製品概要及び受賞理由

地域で未利用となっていた文旦を活用した高品質な文旦エッセンシャルオイルです。

柑橘の精油は、一般的に搾汁残渣を使用していますが、本製品は文旦の皮と果実を分離し、皮のみを蒸留してエッセンシャルオイルを油出しているため、クリアな香りと不純物の少ない品質の高い製品となっています。また、オイル採油率も、搾汁残渣を使用していた従来の採油方法と比較して、約10倍という高い生産性を実現しました。

文旦の皮剥ぎ作業は、県内の障がい者施設に依頼したことで、雇用創出に貢献しました。また、商品価値の低いB級品や廃棄予定の文旦を利用することで、廃棄物の削減だけでなく、地元農家の所得向上にもつながっています。

農家、障がい者施設と連携した地域貢献度の高い製品である点や廃棄品の利活用というSDGsへの取り組みなどが評価されました。



## 移住支援・住宅整備で 雇用と住居を提供して人口を倍増!

### 有限会社藤川工務店

代表者 代表取締役 藤川 豊文 担当者 藤川 豊文  
所在地 長岡郡本山町本山365 TEL 0887-76-2016

#### 活動概要及び受賞理由

社長の思い描く「公共事業に頼らない形での地域経済の循環と移住者増加」を実現すべく、平成30年に「不動産事業部」を立ち上げ、様々な活動を始めました。

長時間通勤する若者に向けたアパートの建設や、空き家をリフォームしたゲストハウス運営など、“工務店だからできる”事業を手掛けています。一方で、“工務店なのに”災害時の炊き出しまで想定したキッチンカーの運営や、新たな移住者に嶺北を身近に感じてもらうためにYouTubeチャンネル「れいほくTV」に投資して、その実務を若い移住者に委託することで雇用の創出につなげるなど、工務店の枠を超えた多角的な取り組みを通して嶺北地域の活性化に尽力しています。

一企業として多方面での地域貢献活動をしている点や、その活動が事業として着実に実績を出している点が評価されました。







# 陸の豊かさを守りつづける ～ジビエ部の挑戦～

## 高知市立高知商業高等学校

代表者 学校長 竹村 晃

担当者 佐々木 翼

所在地 高知市大谷6番地

TEL 088-844-0267

### 活動概要及び受賞理由

高校生がジビエを利活用した商品を開発・販売し、その利益を野生鳥獣被害を受ける森林の保護活動に寄付することで、循環型社会の実現を目指す活動です。

活動開始から6年目となる今年度は、目標寄付金額を過去最高額である50万円に設定し活動をスタートしました。消費者からの要望が多かった「ジビエを使ったペットフード」の開発に着手し、商品企画から試作、モニター実証を経て令和5年5月から県内外で販売を開始しました。これまでに約1,200個を販売しています。

また、高知市役所内のレストランで提供しているジビエ料理のレシピを一般の方に配布し、ジビエ料理の普及を目指す取り組みなどを行った結果、10月時点で目標寄付金額を達成しました。

ジビエ商品の新たな分野の開拓にチャレンジする姿勢や、目標を明確に設定し、かつ、達成している点などが高く評価されました。



### 受賞者の声

この度、4年連続で次世代賞を受賞でき嬉しく思います。活動に関わってくださった方々、ありがとうございました。今年は地域そして世界の人たちとの交流機会を持ち、地域貢献と共に私たち自身のジビエへの理解をさらに深めていきたいと考えています。



# まるごといかそう 幡多no食材 ～大切にしたいひと・もの・こと～

## 高知県立幡多農業高等学校

代表者 学校長 高橋 正英

担当者 三木 幸子

所在地 四万十市古津賀3711

TEL 0880-34-2166

### 活動概要及び受賞理由

同校の生徒たちが代々取り組んできた地域食材「四万十ぶしゅかん」の利用拡大や廃棄される作物の活用を通して、環境保全と地域食材の食育に取り組む活動です。

ぶしゅかんを使用した揚げ菓子の開発で廃油が多く発生したことから、「環境保全を考えた商品開発」というテーマを設定しました。地域の生産者から廃棄予定のぶしゅかんの果皮を譲り受け、先輩方が開発したマーマレードと果皮の部分を組み合わせた菓子を新たに開発しました。

これらの取り組みにより、ぶしゅかんは年間24kgの廃棄量削減などを達成しました。また、学校給食採用や料理教室の開催などを通じて地域の子供たちの食育にもつながっています。

先輩から継承した取り組みを継続・拡大させている点や、環境保全というコンセプト、地域の食材を活用し環境についても考える食育に貢献している点などが高く評価されました。



### 受賞者の声

地域食材や作物の廃棄部が活用でき、学校給食に食材提供することで食育に繋げることができました。これらの活動を評価していただき光栄に思います。地域や地域食材を大切に、加工品などが流通できるよう、この活動を後輩に引き継ぎ、卒業後も見守り伝え続けていきたいです。

## 地域防災イベントに出展し自主防災組織に向け高知県防災関連製品をアピールしました

大阪営業本部 外商コーディネーター 岡 直人

## 第3回港区防災マルシェ (大阪市港区八幡屋公園・Asueアリーナ大阪:12/9)

「第3回港区防災マルシェ」には防災ワークショップやスタンプラリー／クイズラリーのほか、大阪関西万博のPRコーナーなど親子で参加しやすいイベントやブースも多くあり、高齢者から幼児まで幅広い年齢層の方が多数来場しました。(今回のような大規模開催は初めてとのこと)

港区長が高知県ブースに来られた際には、高知県の防災への取組と防災関連製品について説明しじっくりと傾聴していただきました。特に「2025年は港区区制100周年を迎えるにあたって、高知県内製品(備蓄用トイレトーパー)を採用できれば」とのコメントもいただきました。また、本イベントに参加していた港区役所をはじめ、港区社会福祉協議会、大阪市コミュニティ協会、大阪府議会議員、防災意識の高い区民の方々にも幅広く県内の防災関連製品を紹介して興味深くご覧いただくことができました。



## 生野区まちづくりフェア2023 (大阪市生野区役所:12/9)

生野区には19の地域活動協議会が存在し、そのコミュニティ支援事業をまちづくりセンターが担っています。今回のフェアでは次年度の地域活動の方向性などの参考になるような活動事例の発表とテーマごとのブースが設置され、高知県のブースでは防災関連製品のうち自助につながる製品をピックアップして展示を行いました。イベントに参加した地域活動協議会の方々に防災意識向上の一助にさせていただくべく、高知県の防災関連製品をご紹介します、改めて高知県の防災への取組を伝えることができました。



## 2か所のイベントに参加して

個人としての需要が高い備蓄用トイレトーパー、豆腐ジャーキー、ミレービスケット、84腰掛防災トイレ等が特に関心を集めていました。また購入についての問い合わせも多くいただきましたので、購入可能なホームページのアドレスや参考価格などを掲載したリストをお渡ししてご案内しました。地域の防災に関わる関係者の関心は高く、今後は、より簡単に購入できるよう、QRコードなどを記載した案内書を作成して配布することとしています。

さらに今回、防災カタログ、防災関連製品チラシに加えて高知県観光チラシ等も配布しましたので、防災関連製品のみならず高知県の魅力を幅広く伝える良い機会となりました。

## 外商に関するお問い合わせ

## 東京営業本部

〒100-0011 東京都千代田区千代田区内幸町1-3-3  
内幸町ダイビル8F  
TEL: 03-6452-8830  
FAX: 03-6452-8831

## 大阪営業本部

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2-6-8  
センバセントラルビル1F 高知県大阪事務所内  
TEL: 06-4708-3398  
FAX: 06-6244-7933

## 大阪営業本部 (名古屋駐在所)

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-16-8  
栄メンバーズオフィス8F 803号室  
TEL/FAX: 052-684-4904



## 大阪営業本部(名古屋駐在) 移転のお知らせ

令和6年3月18日(月)より大阪営業本部(名古屋駐在)の連絡先が下記へ変更となります。

移転後

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル5階503号室 高知県名古屋事務所内  
TEL: 052-684-4904 FAX: 052-263-1190





# 経営上のお悩み、相談しませんか？

「よろず支援拠点」は、国が平成26年度から全国に設置している無料の経営相談所です。中小企業の皆さまの売上拡大や経営改善等、経営上のあらゆるお悩みに対応します。

## 相談事例の紹介

ITを活用して業務効率を向上！～ExcelではじめるIT化～

担当コーディネーター

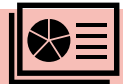
下村 和樹

### 01 相談のきっかけ



今回ご紹介する相談者は、高知龍馬空港の目の前にある“キリンの看板”でお馴染みの送迎付駐車場を運営する事業者です。近年、人手不足に悩んでおり、なんとか業務を効率化できないかと日々試行錯誤されていました。そこで、「最近よく耳にするIT化を上手く活用できれば、自社の業務も効率化できるかもしれない!」との思いから当拠点に相談があり対応しました。

### 02 現状分析と課題把握



現状をヒアリングすると、送迎管理は手書きの複写伝票で管理しており、お客様から問い合わせがあった際には手作業で伝票を探し、お迎えの際には伝票をめぐって人数を確認するといった煩雑な作業が生じていることが分かりました。また、多くの予算を費やすことができないため、補助金等の支援策があれば積極的に活用したいとのことでした。これらを踏まえ、送迎管理をIT化することで、業務効率を大幅に改善できると考えました。

### 03 解決策の提案と実施



まずは現状についてヒアリングし、IT化する業務の範囲を決定しました。また、低予算でも実現できる方法として、専用のツールを購入するのではなく、Excelで作成することも選択肢の一つであることを提案しました。2回目の相談時には、Excel初心者でも分かりやすいよう事前に作成しておいたExcelの雛型を基に操作方法を説明し、簡単にできることを確認していただきました。そして3回目の相談時には、前回作成したExcelのメンテナンス方法までを習得していただきました。

### 04 支援の成果



今回作成したExcelツールを活用したことで、お問い合わせ内容について調べる時間やお迎えの人数を確認する時間を削減することができました。

当拠点では、ITに馴染みの無い方でも簡単にできるIT化を体験していただけるようご支援させていただいております。また、予算についても相談者に合わせた最適なツールのご提案や各種補助金等のご紹介もさせていただきます。まずは、お気軽にご相談下さい。



自社の業務のIT化について、無料で相談にのっていただけるところがあって非常に助かりました。まずは、作成したExcelツールを上手く活用してみようと思います。また、ご紹介いただいた補助金等も検討し、引き続き自社の課題解決に役立てていきたいです。



## スカイパーキング

代表者 大野 建夫  
住所 南国市久枝乙635  
TEL 088-863-5510



お問い合わせ・ご相談予約 (公財)高知県産業振興センター内 高知県よろず支援拠点

住所 〒781-5101 高知市布師田3992番地2 高知県中小企業会館5階

Email yorozu@joho-kochi.or.jp

TEL 088-846-0175 対応時間 8:30～17:15(土日祝日を除く平日)

高知県よろず

検索



# 高知家健康パスポートアプリ事業所版 を使って従業員の健康づくりに 取り組んでみませんか？



ソリューション統括部 総務課  
山本悦子さん

- 創業: 1991年3月
- 業界: 情報システム設計、開発、保守、ITビジネス
- 従業員数: 54人 (2023年12月現在)

## 運動しつつ社員同士が交流! 株式会社テックス(高知市)

きっかけは健康診断で肥満を指摘されたり、「ちょっと太ったかも」とこぼす社員の存在です。デスクワークがメインで、運動不足を感じる社員も多く、何かいい方法はないかと模索している時に高知家健康パスポートアプリの存在を知りました。

多様なヘルスケアのサービスやアプリがある中で、同パスポートに決めたのは、日々の血圧や体重、歩数の記録が無料でできるところです。

2023年11月に事業所としては初めてウォーキングイベントをアプリを使って開催しました。弊社は出張や顧客先での作業も多いのですが、離れていてもそれぞれがイベントに貢献でき、社員の交流にもなりました。

今現在アプリを利用している社員が半分ほどなので、今後はもっと増やしていきたいですね。

## 月までの歩数集計でアプリが活躍!

### 株式会社サンプラザ(土佐市)

2017年「健康経営『高知家』プロジェクト」に参加し、健康宣言を行いました。弊社は高知県民の一日の平均歩数が全国最下位であることからウォーキングに着目。従業員の歩数合計を、地球から月までの距離38万kmを目標とする企画をスタート。参加する従業員に万歩計を提供し、日々の歩数を記録しました。

高知家健康パスポートがアプリになってからは、それまで各々が手書きした歩数を担当者が手集計していたのが自動化でき、かなり楽になりました。そして2023年5月、約2年3か月をかけて38万km相当分の歩数を達成。今は地球への帰還中です。

店舗でのパスポート特典など、お客さまにも健康を意識していただける活動も引き続き行っていきたいですね。

左) 代表取締役社長 水田 芳彦さん  
右) 代表取締役専務 笠原 雄さん



- 創業: 1962年2月
- 業界: 小売、流通
- 従業員数: 856人(パート、アルバイト含む) 2023年12月現在

\*取材内容は2023年12月現在のものです。



アプリで簡単! 導入無料!

事務局がアプリ運用方法を完全サポート!

お問合せ

高知家健康パスポート事務局(株式会社ほっとこうち内)  
E-mail: Kenpass@hotkochi.co.jp 電話: 088-885-0355  
高知県健康政策部 保健政策課

高知家健康パスポート特設サイトはこちら

\*健康経営®は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



日本の健康長寿県構想

高知県健康政策部保健政策課